

まつした 浩 明 松下ひろあき県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

津波火災対策の重要性訴え

大震災の教訓生かす防災対策を!

山武市選出で、県議2期目ながら、県政の舞台で着実に発言力を増す松下浩明(まつした・ひろあき)県議は、6月定例会で一般質問に登壇し、東日本大震災の被災地を視察してきた成果から、津波火災対策の重要性を訴え、震災の教訓を生かした防災対策を確立するよう、強く求めました。

また、教育問題に高い関心を持つ松下県議は、成田空港など本県固有の地域資源を活用したキャリア教育の一層の充実を求め、県教育長の明確な答弁を求めました。さらに県立成東高校を想定し、郡部では初めての中高一貫教育の検討に入るよう、新たな提案も行いました。松下県議の主な質疑を特集しました。



県議会の壇上から笑顔で語りかける松下県議

6月県議会一般質問に登壇

千葉県も三方を海に囲まれ、工業地帯や漁港、住宅には日常的に多くの車が駐車しており、東日本大震災の教訓を生かすことが重要で、当然、津波火災についても想定の対象とすべきと考えます。そこで、津波火災対策についてどう考えるか伺います。

防災危機管理部長 東日本大震災では、津波により被災した石油タンクやプロパンガス容器から油やガスが漏えいし、大規模な火災が発生したことから、いわゆる津波火災対策は

松下議員 5月に県議会地震・津波対策議員連盟の県外視察で、宮城県と福島県を視察してまいりました。

初めの視察先の石巻市は、大津波に襲われたうえに、大規模な火災が追い打ちをかけた、猛火に焼き尽くされて多くの惨劇を生んでまいりました。この津波火災の原因の一つは車で、バッテリーやセルモーターからのスパークにより、ガソリンに引火し、炎は海水の上を走って行き、さらに家庭用プロパンガスボンベや石油に引火して大火災になったと伺いました。

重要だと考えています。このため、県では屋外タンクから石油等の漏えいを防止するため、各事業者が緊急遮断

松下議員 東日本大震災の教訓から、物資及び資機材の緊急輸送を円滑に行うため、県内の緊急輸送道路の路線の見直しが必要だと思っております。

県土整備部長 緊急輸送道路は、大規模な地震等により災害が発生した場合、救援救護活動や緊急物資の輸送を行うための道路であり、県では、平成8年に初めて路線指定しました。その後、平成19年には、第1回目の路線の追加見直しを行ったところです。

また、本年3月には東日本大震災の教訓も踏まえ、圏央道など県内幹線道路の整備進捗や広域防災拠点の新規指定に伴うアクセス道路の追加などの観点から、路線の追加見直しを行った緊急輸送道路ネットワークの改定案を取りまとめたところです。

災害時緊急輸送路見直し

県土整備部長 同地先は、小学校の通学路となっており、歩道が未整備で路肩も狭いことから、歩行者の安全を図るため、延長500メートルの歩道整備に、平成23年度から着手したところで、すでに、調査・設計を完了し、平成24年度からは用地の取得に努めています。

今後、関係機関からの意見聴取等を行い、県防災会議の審議を経て決定し、合わせて地域防災計画に位置

断弁の設置や施設の緊急停止体制等を整備するよう、各消防本部に対し指導しております。また、プロパンガスについても、容器の固定強化やガスの放出を自動的に停止する機能の付いた安全器具の普及促進を関係団体に要請しました。

なお、自動車も津波火災の発生原因の一つではないかと言われておりますが、その出火のメカニズムは明らかにされておりません。現在、国において火災発生原因や延焼した要因の調査研究を行っていることから、県としてはその動向を注視してまいります。

木戸川に架かる緊急輸送道路の緑海橋は、現在、耐震補強工事を進めていただいているところですが、部長に現地をみていただき、歩道整備も進めてもらいたい。

重要です。地元自治体が実施する避難路となる市町村道の整備について、県としても支援するよう要望する。

松下議員 県道成東鳴浜線山武市本須賀地先の歩道整備の進捗状況と今後の見直しはどうか。

県道の歩道整備

●山武市や県政に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

松下ひろあき 県事務所

〒289-1223 山武市埴谷1867-35 TEL・FAX0475-89-0718

■松下ひろあき公式ホームページ <http://www.hiroaki-m.net/>

キャリア教育の推進を強く求め



議場の自席から再質問する松田議員

松田議員 千葉県には、本県を代表する施設の成田空港など、さまざまな施設、企業が立地しており、多くの専門職の方々が業務に励んでおられます。私は、今後、より幅広く、地域に立地する施設や企業などを生かした形で、キャリア教育が進められていくことが望ましいと思います。

そこで伺います。キャリア教育を進める際には、千葉県の地域資源を生かしていくべきと思うがどうか。

教育長 高等学校においては、地域や産業界などと相互に積極的な連携を図り、外部人材の協力を得ることによって、より効果的なキャリア教育を実践する

要望 少子化に伴う受験生の減少が続き、今後少子化が進む中、ま

郡部でも中高一貫教育を要望

成東高校で単位制導入

松田議員 県教育委員会では、平成24年3月に、魅力ある県立高等学校づくりを目指した高校改革を推進するための「県立学校改革推進プラン」を策定しました。すでに「プラン」に基づき第1次及び第2次の「実施プログラム」が策定され、地域連携アクティブスクールや中高一貫教育校、単位制の導入など、さまざまな取り組みが進められ

山武地域でも、県立成東高校が平成28年度から単位制を導入することとなり、私も大いに期待しているところです。28年度に予定している成東高校の単位制導入に向けた準備状況はどうか、伺います。

教育長 成東高校は、長い伝統を有する進学校として実績を挙げてまいりました。平成28年度の単位制導入により、柔軟な教育課程の編成が可能となるなど、これまで以上に生徒の個性を伸ばし、能力・適性等に応じた進路希望の実現が図れると考えています。

現在、学校では、準備委員会において、多様な選択科目の開設や高大連携の推進など、魅力ある単位制となるよう、教育課程の編成作業を行っているところです。

教育委員会としては、成東高校が単位制の導入により、地域から信頼される高校として一層の発展を遂げるよう、教育内容の充実や教育環境の整備に努めるなど、引き続き支援してまいります。

郡部では中高一貫教育校が設置されていますが、郡部においても、生徒の二一貫を踏まえ公立中高一貫教育について研究を行っていただきたい。

6月県議会の傍聴席に詰め掛けた後援会の皆さん

在宅医療の普及求めて!

松田議員 在宅医療・介護施策について伺います。わが国は、国民皆保険のもと、世界でも類を見ない高水準の医療・介護制度を確立していることは事実ですが、入院医療・施設介護が中心であり、自宅で亡くなる人の割合は、1950年の80%から2010年には12%にまで低下しています。

加え、今後、新たに最新の医療・介護機器を使用した実践的な研修を行うとともに、在宅医療を行う中で生じる疑問等に対する相談にも対応することとしておりま

地籍調査の実施状況

松田議員 東日本大震災時における千葉県及び被災県での地籍調査の実施状況はどうなっているのか。

国土整備部長 地籍調査は、国土調査法に基づき、一筆ごとの土地について所有者、地番、地目、境界、面積を調査するもので、実施主体は市町村となります。

東日本大震災直後の平成22年度末における本県の地籍調査の実施状況は、面積ベースでの進捗率が13%、着

また、市町村への補助金は、平成22年度の1億2千万円から、実施市町村の増加に伴い、平成26年度当初予算は5億7千万円と大幅な増加となっています。

森田知事 日ごろから患者の健康管理や診療を行い、「かかりつけ医」が在宅医療に取り組みことは大変重要だと考えています。

そのためには、在宅医療に取り組み「かかりつけ医」を増やすため、千葉県医師会の「県地域医療総合支援センター」の整備・運営に対して支援を行っています。

このセンターでは、これまで実施してきた各種研修に

松田議員 東日本大震災後の千葉県での地籍調査の実施状況はどうか。

また、被災3県での実施状況ですが、同時点の面積ベースでの進捗率は、岩手県で90%、宮城県で88%、福島県で61%となっています。